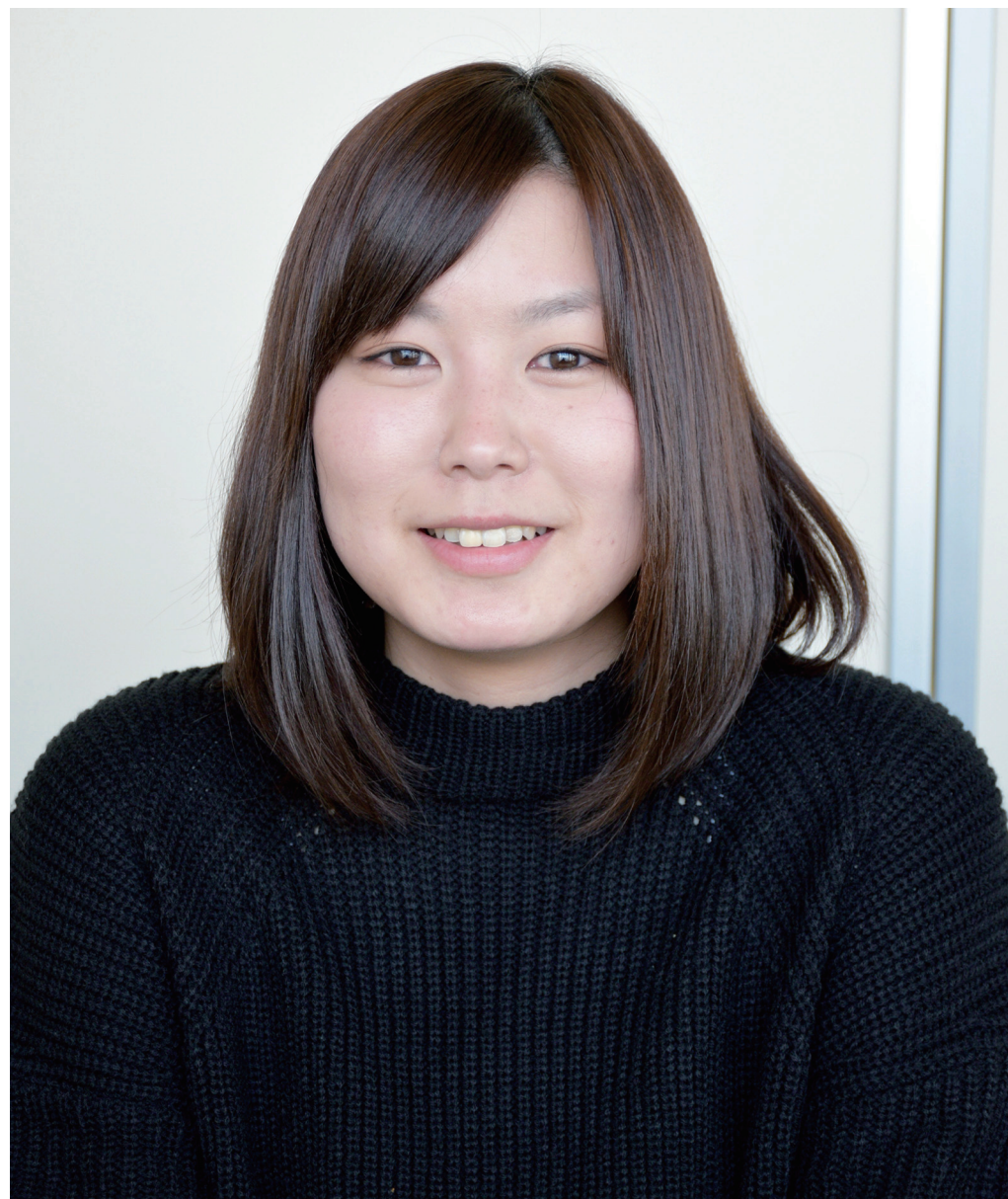




今年9月16日付けで、地域おこし協力隊観光振興支援員の委嘱を受けて活動中の杉澤希理子さん。出身は青森県板柳町。青森県内のホームセンターに3年間勤務し、社員として接客や商品管理、商品の運搬などをこなし、忙しい毎日を送っていたという。

そんな杉澤さんに転機が訪れたのは今年の夏。「これまで大半を親元で過ごしていたので、一度親元を離れて生活してみたいなと思って。札幌在住の友だちが、とても良い所だよと言っていたので、札幌に引っ越そうと決めました」と、8月に転居。

新生活が始まり、今後のことを考えていた時、偶然インターネットで地域おこし協力隊の存在を知った杉澤さん。いろいろと調べたところ、厚真町で支援員を募集していることを知り、「地域おこし協力隊の活動に興味を持ったこと、そして厚真町

は空港に近いことが決め手になりました」と、応募に踏み切ったそう。

厚真町へ移住して約2カ月が過ぎたが「皆さん優しく、親切にしていたいています。また、キツネやシカ、リスなどの動物にたくさん出会えるのが感動です。道などで出会うと、車を停めてじっくり見てしまうこともあります」と笑顔を見せる。

現在は、観光協会や役場が行うイベント等での物販やグリーン・ツーリズム運営協議会のスタッフとして活動している。イベント続きで休日返上の毎日だが「落ち着いたら、町内巡りや、町内のいろいろなお店を全部回ってみたいです」と話す。

今年度は、厚真町での生活に慣れ、さまざまな業務やイベントを経験して勉強したいという杉澤さん。「社会人経験も少ないので出来ることは限られるかもしれないませんが、若者向けのイベントや農家民泊などの若者を呼び込む取り組みや、町の活性化につながる活動ができれば。ちよっと人見知りなところがありますが、食べることもお酒も大好きなので、ぜひ皆さんと仲良くなれたらと思います。」



東和

杉澤 すぎさわ

希理子さん(25歳) きりこ

若者を呼び込むイベントで町を活性化

ぼうさい



⑧10月の保育園訪問、厚真中学校の授業について

10月7日、町内の保育士研修の中で、防災教育に関する話題提供をさせていただきました。予定時間を超えてしまうほどたくさんの質問が出され、先生方が熱心に考えておられる様子がうかがえたのがとても印象的でした。9日には、こども園つみきの避難訓練打ち合わせに、町の防災担当者と参加しました。今までとは違った形の訓練をしたいとのことで、町の防災体制や他地域の事例をも踏まえた計画づくりに関わらせてもらいました。10月22日に実施された訓練の結果を踏まえて、保護者の方々と共に、子どもたちの安全を守るための取り組みを日々積み重ねていくことが大切だと考えています。

10月8日には、厚真中学校を訪問し、避難訓練の後の講話、防災授業をする機会をいただきました。私が出す「正解のない悩ましい問題」について、ディスカッションをしてもらうという内容です。昨年度に続いて2度目の授業となりますが、毎回生徒のみなさんのしっかりした意見や、グループで話し合われた内容をわかりやすくまとめ、伝える力の高さに感動しています。生徒のみなさんからいただいた意見も、現在作成中の厚真町防災教育教材に反映させていきたいと考えています。

■プロフィール

定池祐季（さだいけ・ゆき）

東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター（CIDIR）特任助教。
剣淵町出身。北海道大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士（文学）。北海道大学助教を経て現職。専門は、災害社会学・防災教育。北海道南西沖地震を奥尻島で経験、災害復興と地域防災に関する研究に取り組むほか、各地で防災教育活動を展開している。2014年より厚真町防災アドバイザー。



■ 今月の内容 ■

- ☒ I LOVE あつま・人口・世帯数 … 2～3
- ☒ マチの家計簿 … 4～5
- ☒ 厚真町ハスカップブランド化推進協議会通信 … 6
- ☒ 「Jアラート」を活用した
住民の皆さんへの情報伝達訓練 … 7
- ☒ 安平・厚真行政事務組合 … 8
- ☒ 歳末助け合いチャリティー即売会 … 8
- ☒ 介護を要する方・出産前後の家庭を応援します！ … 9
- ☒ まちの話題 … 10～13
- ☒ みんなの広場 … 14～15
- ☒ まなびや … 16～17
- ☒ 健康情報・ほけんの掲示板 … 18～19
- ☒ 情報ひろば … 20～22
- ☒ 気象台からの防災メモ・登記に関するQ&A … 23



■今月の表紙

10月12日、「第16回健康ふれあいマラソン大会」がスポーツセンター周辺を会場に開催され、約170人が心地よい汗を流しました。



選手たちは、自己ベストや新記録を目指して力走。また、一つでも上の順位を目指そうと、ゴール直前でラストスパートをかけて競い合う姿も見られました。

2015(平成27)年11月

NO. 759

10月31日現在の人口
4,708人(前月比－12)
男 2,308人／女 2,400人
世帯数 2,125(前月比－7)